

第 8 回 日向東臼杵広域連合次期広域最終処分場建設検討委員会 議事要旨

日時：令和 7 年 7 月 25 日（金） 13:30～15:00

場所：西郷ニューホープセンター（美郷町）

■ 出席者

- | | | |
|-------------|-------|-------------------------|
| (1) 委員 | 土手 裕 | （宮崎大学工学部教授） |
| | 原田 隆典 | （宮崎大学工学部名誉教授） |
| | 大榮 薫 | （宮崎大学工学部准教授） |
| | 山田 大志 | （NPO 法人五ヶ瀬川流域ネットワーク理事長） |
| | 松本 恵喜 | （美郷町花水流地区） |
| | 小野 和久 | （美郷町小川地区） |
| (2) 事務局 | 渡部 憲二 | （日向市 環境政策課 課長） |
| | 奥原 孝雄 | （日向市 環境政策課 課長補佐） |
| | 小林 英彦 | （門川町 環境水道課 課長） |
| | 川越 泰博 | （門川町 環境水道課 課長補佐） |
| | 黒田 和幸 | （美郷町 町民生活課 課長） |
| | 中田 芳樹 | （美郷町 町民生活課 主幹） |
| | 田丸 光夫 | （諸塚村 住民福祉課 課長） |
| | 黒木 治実 | （椎葉村 税務住民課 課長） |
| | 黒木 悟 | （広域連合 事務局長） |
| | 上杉 幸司 | （広域連合 局長補佐） |
| | 吉玉 賢司 | （広域連合 業務第 1 係長） |
| | 黒木 俊介 | （広域連合 業務第 1 係主査） |
| (3) コンサルタント | 平川 猛 | （株式会社建設技術研究所） |
| | 池田 勇太 | （株式会社建設技術研究所） |

（以上、敬称略）

■ 内容

- 1 開会
- 2 あいさつ（委員長）
- 3 協 議（議事進行：委員長）
 - （1）前回委員会の確認
 - （2）生活環境影響調査報告（中間）について
 - （3）今後のスケジュールについて
 - （4）その他
- 4 閉会

■ 配付資料

- 資料1：第7回建設検討委員会議事要旨
- 資料2：生活環境影響調査報告（中間）
- 資料3：今後のスケジュールについて

1. 開会

○配布資料の確認

2. あいさつ

○土手委員（委員長）より挨拶

3. 協議事項

(1) 前回委員会の確認

○事務局より【資料1】に基づき説明。

各委員 : 特に意見無し

(2) 生活環境影響調査報告（中間）について

○事務局より【資料2】に基づき説明。

委員 : 現地調査は供用後を対象としたもので、現況を測定するものか。

事務局 : 供用後が対象でバックグラウンドを測定する目的である。

委員 : 調査月の設定方法（特に河川水）を教えてほしい。

事務局 : 調査時期は、4季が前提となる。ポイントは秋で、台風の影響を考慮した。また、大内原ダムの放流に影響がないようにしている。

委員 : 地下水で砒素が検出されているが、要因は何か。

事務局 : 日向層群の地層から溶出していると考えられる。自然由来であると考えている。

委員 : 河川水の調査報告時は、降水量データも合わせて提示してほしい。

委員 : 供用後も今回の調査のようにモニタリングを行うのか。

事務局 : 最終処分場の維持管理基準に基づいてモニタリングを行う。維持管理基準の中には今回の調査で実施している粉じんや騒音振動のような項目は含まれない。

委員 : 今回の事業では沈砂池のようなものを整備するのか。

事務局 : 大雨時の調整用として洪水調整池を設置する。

委員 : 供用後に粉じん等の影響が出てから原因究明として調査をすることでは遅い。事前に対応できるよう、モニタリングについても検討してほしい。

委員 : 現在の環境に影響がないように事業を実施してほしい。

(3) 今後のスケジュールについて

○事務局より【資料3】に基づき説明。

各委員 : 特に意見無し

(4) その他について

○事務局より説明。

事務局 : 公開で会議を開催しているため、記者発表は行わない。

4. 閉 会

[了]